



富士山は、なぜ噴火して日本一の高さになったの

二度の噴火で2500メートルぐらゐの高さになった

富士山は高さが、3776メートルで、日本一高い山です。美しくて高い富士山は、一度の噴火でできたものではありません。

今から約60～70万年前に、駿河湾の北部で海底火山が噴火しました。これがもとになって、小御岳火山とよばれる火山ができました。次に、約2万年前の氷河時代に、火山の活動が最もさかんになって、古富士火山ができました。

火山の噴火によって、火口からふき出る物を噴出物といいます。古富士火山の噴出物が小御岳火山の上をおおいました。このときの高さは、2500メートルぐらゐでした。

約1万年前に今の富士山の形になった

約1万年前に再び始まった火山の活動によって、古富士火山は、噴出物ですっかりおおわれました。そして、今の富士山の形になりました。

このように富士山は噴火を何回もくり返して、すそ野の広いならかな、日本一高い山になったのです。(監修・国司 真)

